



第 20 回世界冬の都市市長会議(札幌開催)の概要



【開催日程】

令和6(2024)年 12 月 17 日(火)～21 日(土)(エクスカーション等含む)

【メイン会場】

札幌コンベンションセンター(札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目)



【主催】

札幌市及び世界冬の都市市長会

【会議テーマ】

- メインテーマ 「冬の都市の新たな可能性～持続可能な社会の実現～」
- 特別テーマ 「冬の都市における GX(グリーントランスフォーメーション)」
※GXとは:産業革命以来の化石エネルギー中心の産業構造・社会構造を
クリーンエネルギー中心へ転換し、経済成長へつなげること
- サブテーマ : ①冬の都市における環境施策 ②冬の都市における経済活動
(分科会) ③冬の都市における都市開発
- トピック : ①冬の都市における教育 ②冬の都市における観光施策
(政策研究会) ③冬を活かした文化芸術

【参加者】

会員都市9ヶ国 22 都市及びオブザーバー都市の市長等 約 100 名想定

【使用言語】

日本語、英語、中国語、韓国語(メイン会場では同時通訳あり)

【会議構成】

	12月17日(火)	12月18日(水)	12月19日(木)	12月20日(金)	12月21日(土)
午前	開会式、総会	政策研究会①～③	全体会議・閉会式	エクスカーション	冬の都市 フォーラム (市民向け イベント)
午後	分科会①～③	・環境保全に関する行動目標の最終報告 ・特別テーマに関する講演 等	記者会見 視察		
夜	札幌市長主催 歓迎夕食会	WWCAM会長主催 夕食会			
冬の見本市(ビジネス交流会・ウインターシティーズショーケースでの都市PR)					

【参考】世界冬の都市市長会(WWCAM:World Winter Cities Association for Mayors)

- ・「冬は資源であり、財産である」というスローガンの下、世界中の冬の都市が集まり、冬の技術や経験、取り組みを学び合うネットワーク
- ・1981年に札幌市が提唱し、翌年に1回目の市長会議を開催
- ・設立当初から会長は札幌市長が務め、札幌市国際部に事務局が置かれている
- ・世界 9 カ国 22 都市が会員都市(2024年 8 月現在)
- ・原則2年に1度、会員都市にて市長会議を実施(直近は 2021年 11 月のフィンランド・ロヴァニエミ市(オンライン開催))



世界冬の都市市長会の詳細等は公式ウェブサイト(<https://wwcam.org/>)へ

